

文化創造学科 初等教育学専攻(子ども発達専修・学校教育専修) 「資格取得」のための手引き(大学での取得資格)

資格	資格概要・本専攻で育てる人材	取得方法	タイムスケジュール ← 授業 → 実習・体験学習 ← 対策講座 →	カリキュラム(単位)	試験	費用	就職先	学生の様子
学校図書館司書教諭	小・中・高等学校に設置される学校図書館において、学校教育に必要な資料を収集・保存して、児童又は生徒及び教員の利用に供することによって教育課程の展開に寄与するとともに、児童または生徒の健全な教養を育成することを目的とする専門職に従事する教諭です。	本学の学校図書館司書教諭課程に関する科目の単位(必修10単位)を修得します。また、小・中・高等学校の教諭免許状のいずれかを取得。(卒業後、講習実施大学へ一括申請し、学校図書館司書教諭講習の修了証書を受けます。)	1年 2年 3年 4年 前期 後期 前期 後期 前期 後期 前期 後期 資格取得・卒業	・「必修科目(10単位)」 学校経営と学校図書館、学校図書館メディアの構成、学習指導と学校図書館、読書と豊かな人間性、情報メディアの活用	なし	課程履修費 10,000円	・学校図書館	
日本語教員	日本語教員は、外国人など日本語が母国語でない人に日本語を教える教師です。日本国内の大学や日本語学校、海外の大学や高校などの場所で教えます。また、最近では日本国内の小・中学校で外国人の子どもたちに日本語を教える教師も増加しています。	日本語学や日本語教授法、日本事情、日本語教育実習など日本語教員養成に関する科目(17科目33単位)を取り、本学を卒業することが必要です。	1年 2年 3年 4年 前期 後期 前期 後期 前期 後期 前期 後期 資格取得・卒業 (日本語教育実習)	・日本語教授法Ⅰ ・日本語教授法Ⅱ ・日本語教材論 ・日本語教育評価法 ・日本語教育実習 ほか	なし	課程履修費 副専門 10,000円 上記以外 30,000円	・小・中学校 など	
デジタル・アーキivist	デジタル・アーキivistは、総合的な文化情報の創造、保護、管理、流通利用を担当できる専門的職員です。今後、博物館、図書館、教育界、企業などでの活躍が期待されています。 ☆岐阜女子大学はデジタル・アーキivistの養成機関として東海地方の大学で唯一認定されています!	日本デジタル・アーキivist資格認定機構が定める科目の単位(必須分野22単位、選択分野12単位)を履修し、デジタル・アーキivist資格認定試験に合格することが必要です。	1年 2年 3年 4年 前期 後期 前期 後期 前期 後期 前期 後期 資格取得・卒業 試験 試験 3・4年次2回のチャンスがあります	必修科目 ・デジタル・アーキivist概論 ・マルチメディア ・デジタル・アーカイブ ほか 必修科目(演習) ・マルチメディア演習 ・情報記録検索演習 ・メタ情報処理演習 選択科目	有り 受験料 10,000円 (本学での一括申請)	課程履修費 副専門 10,000円 上記以外 30,000円	・博物館 ・図書館 ・教育界 ・企業等	
図書館司書	司書は、図書館法で規定された図書館において、図書資料の収集、整理、保管、レファレンスなどのサービスに従事する図書館で働く専門的職員で国家資格です。	図書館法施行規則に定める科目の単位必修13科目22単位、選択2科目以上2単位以上計24単位以上を履修し、本学を卒業することが必要です。	1年 2年 3年 4年 前期 後期 前期 後期 前期 後期 前期 後期 資格取得・卒業	必修科目 ・生涯学習概論 ・図書館概論 ・図書館制度・経営論 ・図書館サービス概論 ほか 選択科目 ・図書・図書館史 ・図書館施設論	なし	課程履修費 副専門 10,000円 上記以外 30,000円	・図書館	

初等教育学専攻の学びの特色

体系的な教員養成プログラム
～EGG (Enjoy Global Growing up) プラン～

実践力ある教員をめざす体験活動

1年次より理論と現場実習を繰り返し学ぶ、「理論と実践を往還」した学びの体系で、専門力を高める。

学んだ知識を積み上げて、実践化する活動
・工夫、表現、創意、協働のミュージカル上演活動
・実践力育成の近隣小学校等での教育サポート活動

理論学修

1年次 教育者・保育者の基礎的な理論を学びます。

2年次 教育・保育内容を幅広く理解し、子どもを理解する力を身に付けます。

3年次 教育・保育に関する教育方法や教材作成の力を身に付けます。

4年次 これまでの学びを大成し、自らの教育・保育を創造する力を身に付けます。

体験学習

1年次 小学校、保育所、幼稚園体験学習を行います。

2年次 2回目の小学校体験学習。ミュージカルの演目決めから上演までを実施。表現する力を身に付けます。幼稚園や小・中学校での教育実習。2年次の経験を活かしたミュージカル演目上演。創意工夫の表現、専攻のリーダーとして協働の力の向上。

4年次 遠地体験学習にて、義務教育学校での授業を体験。さらには近隣の小・中学校へ個々の目的をもった教育サポート活動。

主専門・副専門制度
～"専門+α"の力を身につけた教員の育成～

- 学校図書館司書教諭
- 日本語教員資格
- デジタル・アーキivist
- 図書館司書

教員免許状・保育士資格の他に上記の資格取得をすることで、**土αの専門的知識・技能**を身に付け活躍の場が広がります。



例) 小学校教員+「日本語教員資格」
= 様々な国籍の子どもへ指導できる教員

専門性を実体験で習得するカリキュラム
～ミュージカル上演～

社会が求める高次な専門性を**実践力で発揮できる力**を身につけます。

学ぶ時間を保障した

- ⇒ 真の実践力の追求ができる
- ⇒ 長期にわたる連続活動力をつける
- ⇒ 学ぶ仲間と協業で人間理解力の深まり
- ⇒ スタートからゴールに至る研究心を高める
- ⇒ こと・もの・人からの感受性の高まり

「大学院科目早期履修制度(5年コース)」
～「専修免許状」取得～

教員免許状は10年毎に更新していく制度が設けられているように、教員は学び続けること、そして持っている免許状も上進(一種免許状を専修免許状にする)していくことが求められています。
本学では、変わりつつある教員免許制度にいち早く対応した「大学院科目早期履修制度」があります。大学4年次に、大学院科目を10単位(5科目)まで修得することができる制度です。そのことにより、大学卒業後に大学院に入学することで、「専修免許状」を取得し、大学院を1年間で修了することができます。

